

◆ **放送文化賞受賞者（2010年度）** 東日本大震災のため、2011年3月22日予定の放送記念日記念式典が中止、贈呈式も実施せず。

日本放送協会放送文化賞は、1949年度に創設。放送事業の発展に寄与し、放送文化の向上に特段の功績があったと認められる方々に対して贈呈しており、今回の7人をあわせ、これまでに400人が受賞。（⇒p.825）

**青柳 正規** 国立西洋美術館館長

美術史家・考古学者としてイタリアを拠点に活動。『日曜美術館』をはじめ、ローマ帝国の歴史や美術を扱った番組に多数出演。2009年実施の「古代ローマ帝国の遺産」など大規模な展覧会開催にも尽力し、イタリアと日本の文化交流に貢献した。

〔主な関係番組〕

- 2004 ハイビジョン特集『ローマ皇帝の歩いた道 前・後篇』HV
- 2009 日曜美術館『ぜいたく？素朴？ポンペイの暮らし方』E

**池端 俊策** 脚本家

深い洞察力と鋭い視点の人間ドラマで、社会の孤独と不安を骨太に描き、独自の作風を確立。胎内被爆者の背負う宿命と職人の生きる誇りを描いた『帽子』や、『大仏開眼』など10年越しの古代史ドラマ三部作は、視聴者に深い感動を与えた。

〔主な関係番組〕

- 1984 ドラマ人間模様『羽田浦地図』G
- 1991 大河ドラマ『太平記』G
- 2008 広島発特集ドラマ『帽子』G
- 2010 古代史ドラマスペシャル『大仏開眼』HV・G

**小沢 慎治** 愛知工科大学教授

画像処理のパイオニアとして優れた研究成果をあげた。動く物体をコンピューターで自動識別する画像センシングや、多視点カメラなどで、映像表現の可能性を広げた。NHK放送技術研究委員会委員などの役職も務め、放送技術の発展に寄与。

〔主な委員歴〕

- 2002～2009 NHK放送技術研究委員会委員
- 2006 映像情報メディア学会会長

**桂 三枝** 落語家

テレビ、ラジオ、舞台と多方面で活躍するなか、創作した落語は220作以上。上方落語協会会長も務め、定席「天満天神繁昌亭」のオープンにも尽

力。公開番組『三枝一座がやってきた!』ではふるさとネタの創作落語で地域を大いに励ました。

〔主な出演番組〕

- 1978～1980 『三枝の笑タイム』G
- 2006 かんさい特集『ようこそ繁昌亭へ』G（近畿）
- 2007～2010 『三枝一座がやってきた!』BS2
- 2010 『上方演芸ホール』G（近畿）

**鎌田 實** 諏訪中央病院名誉院長

長年、住民とともに作る地域医療を実践し、医療・福祉の分野で公共放送の使命に貢献。ラジオの公開放送番組『鎌田實いのちの対話』では、“がんばらない”あるがままの姿を受け入れた「心の医療」を唱え、多くの人の共感を呼んでいる。

〔主な出演番組〕

- 2003～ 『鎌田實いのちの対話』R1
- 2006～2007 『つながるテレビ@ヒューマン』G

**外山 雄三** NHK交響楽団正指揮者

NHK交響楽団の正指揮者としてその演奏を30年以上にわたって支えてきた。数多くの番組に出演し、巧みな話術でクラシック音楽の裾野を広げた。各地の民謡のメロディーを生かした「管弦楽のためのラプソディー」など作曲家としても活躍。

〔主な出演番組〕

- 1979～ 『名曲アルバム』G・E
- 1985～ 『FMシンフォニーコンサート』FM
- 2003～ 『クラシック倶楽部 N響コンサート』BS2・HV

**富司 純子** 女優

映画、舞台、テレビで活躍してきた日本を代表する女優のひとり。大河ドラマ『源義経』で静御前を熱演し、任きょう映画でも人気を博す。連続テレビ小説『てっぺん』ではヒロインの祖母役を演じ、その凛として存在感のある演技が高く評価された。

〔主な出演番組〕

- 1966 大河ドラマ『源義経』G
- 1982 ドラマスペシャル『勇者は語らず』G
- 1993 大河ドラマ『琉球の風』G
- 2010～2011 連続テレビ小説『てっぺん』G